

第4回

稲築東中学校区 小中一体型校施設整備協議会

資料

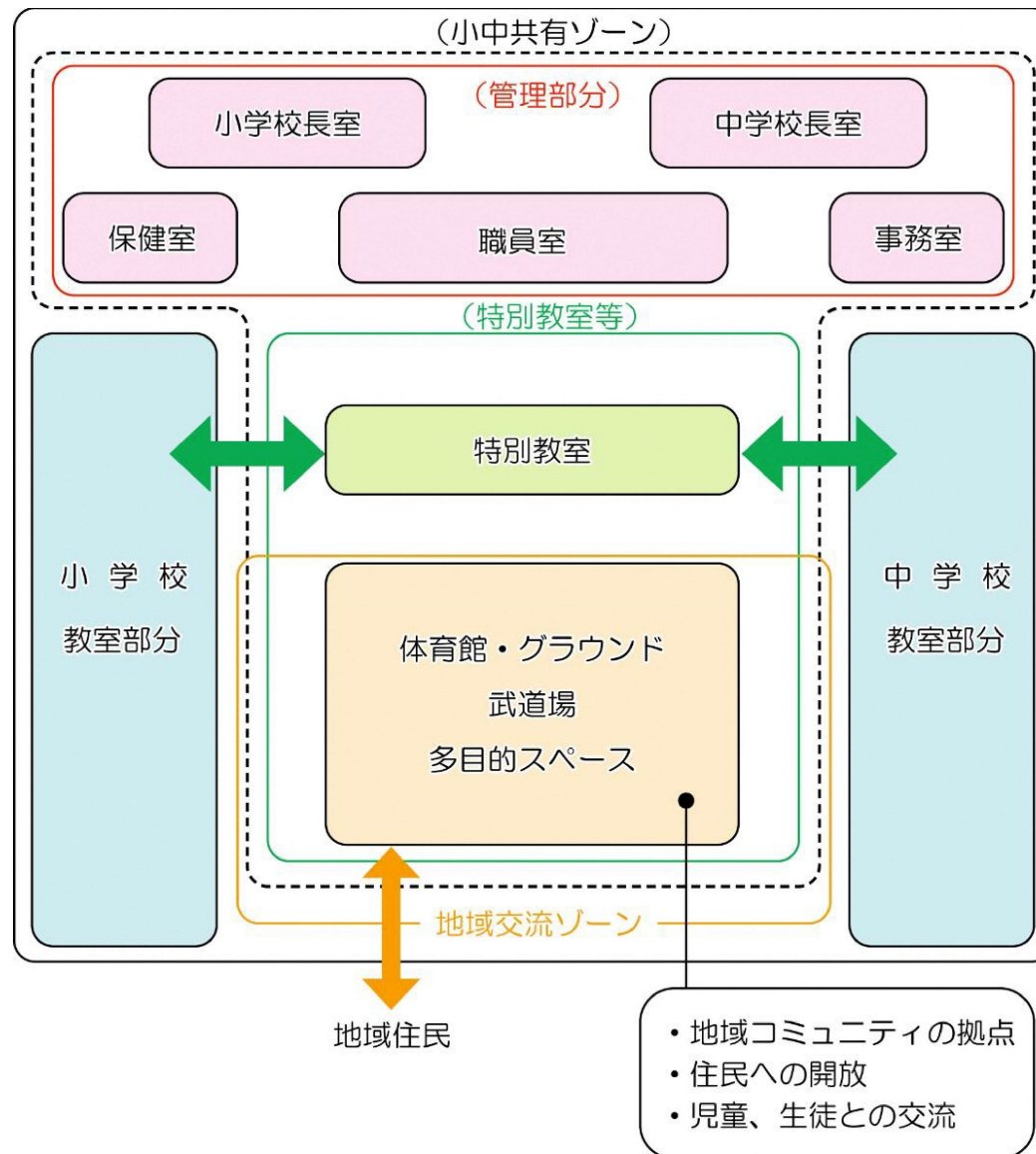
令和元年 11月14日

	イメージ図 A 案	イメージ図 B 案
----- 敷地境界線 ← 歩行者出入口 ← 車両出入口 ↔ 低学年用観察園 ↔ 外部通抜け位置		
「コンパクトな施設づくり」	校舎、体育館、武道場、グラウンドのバランス良い配置とします。	
明確な配置計画	学校管理エリア内に来校者駐車場が配置されて混合します。 メイングラウンドへ校舎の東側より接続 サブグラウンドの配置 無し	学校管理エリア外に来校者駐車場が配置できるため、エリア分け可能です。 メイングラウンドとサブグラウンドへ校舎の北側より接続 校舎北側に配置 (35m×60m) 校舎南側に低学年用観察園を確保
サブグラウンドの配置	校舎東側に低学年用観察園を確保	
「地域住民の集いの場となる施設づくり」	地域住民が気軽に教育活動にふれられる施設とします。	
立寄りやすい配置計画	来校者は正門より接続します。 来校者駐車場は校舎から離れ、2カ所に分離します。 敷地外より学校活動の見通し可能です。	来校者は正門より接続します。 来校者駐車場は校舎に近接し、1カ所に集約します。 敷地外より学校活動の見通し可能です。
「地域コミュニティの拠点となる施設づくり」	地域住民が親しみやすい施設とします。学校開放施設として想定される施設 (体育館、武道場、図書室など)	
地域交流の居場所づくり	来校者駐車場と学校開放施設は集約します。	来校者駐車場と学校開放施設は集約します。
「安全・安心を守る施設づくり」	災害避難所として機能する施設とします。災害時に救援車両の進入や防災倉庫の設置など	
日常安全性の配置計画	来校者動線を限定し全体把握が可能です。(管理しやすい)	来校者動線を限定し全体把握が可能です。(管理しやすい)
駐車場の配置計画	職員駐車場と来校者駐車場は分離配置します。 来校者の車両動線と児童生徒の歩行動線が交差します。	職員駐車場と来校者駐車場は分離配置します。 来校者の車両動線と児童生徒の歩行動線は分離します。
配置計画の適正	○	◎

イメー ジ 図 C 案		
敷地境界線 歩行者出入口 車両出入口 低学年用観察園 外部通抜け位置		
「コンパクトな施設づくり」	校舎、体育館、武道場、グラウンドのバランス良い配置とします。	
明確な動線計画	学校管理エリア内に来校者駐車場が配置されて混合します。 メイングラウンドへ校舎の西側より接続	
サテライトグラウンドの配置	サテライトグラウンドの配置 無し 校舎東側に低学年用観察園を確保	
「地域住民の集いの場となる施設づくり」	地域住民が気軽に教育活動にふれられる施設とします。	
立寄りやすい配置計画	来校者は正門より接続します。 来校者駐車場は校舎から離れ、2カ所に分離します。 敷地外より学校活動の見通し不可能です。	
「地域コミュニティの拠点となる施設づくり」	地域住民が親しみやすい施設とします。学校開放施設として想定される施設（体育館、武道場、図書室など）	
地域交流の居場所づくり	来校者駐車場と学校開放施設は集約します。	
「安全・安心を守る施設づくり」	災害避難所として機能する施設とします。災害時に救援車両の進入や防災倉庫の設置など	
日常安全性の配置計画	来校者動線を限定し全体把握が可能です。（管理しやすい）	
駐車場の配置計画	職員駐車場と来校者駐車場は分離配置します。 来校者の車両動線と児童生徒の歩行動線が交差します。	
配置計画の適正	△	

* 敷地下敷き図面は、施設台帳のトレース図の縮尺等に差異があります。

□校舎 構成のイメージ図



□ 稲築東中学校区の階層の断面イメージ図

〈各階ゾーニングの考え方〉

- 1 小学校、中学校が独立性を保ちつつ、学校・地域と協働しやすい構成とする。
- 2 小・中学校の交流、連携のための「交流スペース（ホール）」を小中一体型校舎の中心に配置し、共有可能な指導や特色ある教育活動を推進する。
- 3 小中一体型校舎への移行により、学校間の交流、連携をしやすいするため、施設全体をコンパクトに集約し、配置する。

